

利用人数

2025年度（日本財団助成最終年度）利用者数

4月	小学生50名 おとな16名	中高生51名	幼児24名 合計141名
5月	小学生44名 おとな26名	中高生58名	幼児24名 合計152名
6月	小学生52名 おとな17名	中高生57名	幼児14名 合計140名
7月	小学生67名 おとな19名	中高生69名	幼児13名 合計168名
8月	小学生65名 おとな9名	中高生45名	幼児10名 合計129名
9月	小学生39名 おとな21名	中高生45名	幼児13名 合計118名
10月	小学生39名 おとな20名	中高生61名	幼児27名 合計147名
11月	小学生32名 おとな16名	中高生61名	幼児18名 合計127名
12月	小学生29名 おとな14名	中高生48名	幼児12名 合計103名
1月	小学生36名 おとな23名	中高生60名	幼児21名 合計140名
2月	小学生23名 おとな18名	中高生46名	幼児18名 合計105名
3月	小学生37名 おとな30名	中高生32名	幼児10名 合計109名
年間利用者数（3/27現在まで）			
小学生513名		中高生633名	幼児204名
おとな229名		総合計1579名	
開所日数155日		平均10名/日利用	

2023年度（日本財団助成初年度）利用者数

小学生592名	（平均4.4名/日）
中高生197名	（平均1.4名/日）
幼児122名	（平均0.9名/日）
おとな151名	（平均1.1名/日）
総合計1062名	
開所日数133日	平均8名/日利用

2024年度（日本財団助成2年目）利用者数

小学生605名	（平均4.1名/日）
中高生674名	（平均4.6名/日）
幼児205名	（平均1.4名/日）
おとな178名	（平均1.2名/日）
総合計1662名	
開所日数148日	平均11名/日利用

3年間を通しての利用者数の増減について

事業スタート当初から、義務教育期間中である子どもたちにとって、学校という第2の居場所に行けなくなってしまうことが、彼らの成長に及ぼす大きな影響に向き合いたいという思いから日中の居場所も必要であると考え活動してきた。その中で小学校高学年～中学生の不登校や行き渋りの子どもたちの利用が多いことが「こどもサニーハウス」の特徴ともいえる。

また子どもたちや子育て家庭の抱える課題は多様化しており、こどものサポートをするということは、子育て家庭全体をサポートすることが大事。という観点からおとなの利用者も増えたことも特徴になっていると思う。

2025年度 行事等

- 4月 お花見遠足 農業体験（畑の準備）
My防災ボトル作り 母の日サプライズ作戦
- 5月 ビーチクリーン&シーグラス集め遠足
農業体験（田植え） バスボム作り
農業体験（ニンニクの収穫・ショウガ植付）
スポーツデイズスタート！
イベントボランティア活動「さにふえす」
- 6月 さぬきこどもの国遠足 農業体験（サツマイモ）
シーグラス集め&水遊び
食育&算数「プリンづくり」 スポーツデイ
- 7月 ゴールドタワー遠足 課題解決ワークショップ
農業体験（たまねぎ収穫）
夏休みポスター教室 作文教室
- 8月 ハナエミ自然活動体験 居場所交流体験
映画観賞会 スマブラ大会（第3回チャンピオン）
ボランティア体験@みとよ荘さん夏祭り
- 9月 おとうふ工場見学@カンショクさん
農業体験（ニンニク種づくり）
アート鑑賞@ふしぎNAたね展
CANVA教室 スポーツデイ

- 10月 CANVAでプレゼン大会
イベントボランティア体験「さにふえす」
瀬戸芸鑑賞遠足@伊吹島
おしごと体験@多胎児ファミリー交流会
段ボールアート ビーチクリーン体験
おしごと体験@バン屋さん スポーツデイ
- 11月 アート鑑賞@HAPPY展&番の州公園
農業体験（脱穀） あさひ山森林公園
農業体験（レタスとショウガの収穫）
焚火&焼き芋パーティ スポーツデイ
- 12月 イベントボランティア体験「さにふえす」
アウトドアクッキング体験
ボランティア体験@みとよ荘（草抜き）
お楽しみ会@カラオケパーティ
- 1月 こんびらさん遠足 チラシ配布体験
農業体験（もみの選別） スポーツデイ
- 2月 進路探求@穴吹デザインカレッジ
イベントボランティア体験「さにふえす」
農業体験（ジャガイモ植付）
- 3月 報告会 お花見遠足

2025年度（2025年4月～2026年3月）

こどもサニーハウス

活動・実績報告書

香川の自然を満喫！



体力だってついてきた！



安定のボードゲも！



地域企業のご協力も！



アーティストがいっぱい！



特定非営利活動法人子育て応援NPOフレンズ

香川県三豊市豊中町笠田笠岡2536-1
080-2524-9452 / 0875-24-8690
公式LINEみとよスマイルプロジェクト



こどもサニーハウスの3年間

日中
利用

1人1人の「今」をしっかりととらえること。
自分の現在地を知ることで「将来」を考えること。

日中利用のこどもたちにとって、助成最終年度となったこの1年は様々な体験活動や日々の活動を通して自分自身の現在地としっかり向き合う事がテーマになりました。ことばにすると当たり前のように聞こえますが、実際に自分自身と向き合うことは簡単なことではなく、時には目をそむけたくなったり、戸惑ったりすることもあると思います。

私たちが当初目指してスタートした安心して過ごせる場所のベースができあがり、こどもたち同士も支えあい安心を提供しあえる仲間になりましたが、みんなが将来自分自身で自分らしく過ごせる未来を作っていくためには、ここで足を止めていいわけではない。という想いで色々な取り組みをしてきました。みんなにも家族の皆さんにも私たちの想いがどこまで届いているのか不安になったこともあります。みんなにはそれぞれ自分らしく羽ばたけるパワーがある！という信念をもって進んできたラストイヤーになったと思います。

学習
支援

できることから。できるカタチで。
「できた！」が増える喜びを一緒に感じて…

学習支援の時間は、主に宿題やその子の「今」の壁を見つけることを中心に、一緒に課題に取り組む。そんなスタイルで学びの中に喜びを見つける作業をしてきました！

どうせわからない！とあきらめていたことにも、みんなと一緒に取り組むことで少しずつ理解できることが増えたり。つまりいてたけどほったらかしてきたことを学びなおすことで自信がついたり。そんな瞬間を一緒に喜ぶことができて私たちも幸せです。

こども
食堂

離乳食期から腹ペコ思春期さんまで！
みんなの「おいしい！」笑顔のために…

ワンオペ時間の長いママたち。学校給食を食べられないこどもたち。離乳食がなかなかうまく進まない乳幼児さん。とにかくいつでもお腹ペコペコな思春期の食いしん坊たち。

苦手なものが食べれるようになったり、上手にモグモグごっくんができるようになったり。あ～！お腹いっぱい！と満足げな様子も。家ではこんなに品数作れない！と日々頑張ってるママたちも。食事を通して笑顔が生まれる時間が「こども食堂」にはいつもあふれていました。食品や野菜を提供してくださる地域の企業や農家の皆さん、ありがとうございます！



みんなの次の1歩を
いつも応援してます！

3年間一緒に過ごしたスタッフから…

おかうえさん

この3年間、環境に慣れていくこどもたちの変化に日々驚かされています。自分ではこどもたちに敵わないこともどんどん増えてきて、嬉しくも悔しくもある最近ですが、どこまで行ってもこどもたちとは出来るだけ対等な立場、目線で接していければと思います。引き続き、こどもたちが社会に出ていくことを見据えて、こどもたちの持っている「好き」を主体的な行動へ導いていけるような客観的なシステムができればいいなと思っています。

3年間の中で、こどもたちは笑ったり、ときには怒ったりしながら、様々な表情を見せてくれました。その素直な姿に多くの喜びをいただきました。遊びや農業体験、ボランティアなど、全てがかけがえのない思い出です。こどもサニーハウスは、これからもこどもたちが安心して過ごし、自分らしくいられる居場所です。

ちあきさん

けんじさん

3年目は…開始当初から来ているこどもたちもどんどん慣れて来て「何か目新しい刺激がないか？」と考えた1年でした。しかし本当に必要だったのは「新しい事に挑戦する」「苦手なことでもやってみる」「失敗を気にしない」「何かやり遂げる」そんな気持ちや達成感を味わってもらう事が何より大事だったのだと今になって感じます。3年間を通して…何より自分が個人的に思っていたより、こどもたちの成長が速い事に驚きました。自分が勝手に思っていたのは「数年間かけてゆっくり他者とのコミュニケーションに慣れて次のステップへのパワーをためる場所」でしたが、多くのこどもたちがそのパワーが思いのほか猛スピードでついていった印象です。それだけこの場所が安心して過ごせる場所になったのではないかと感じています。

居場所の3年を振り返り、まずこの場所に来たい！と思ってもらえる場所にはなったかなと思います。少しずつ「こどもサニーハウス」を知っていただけるようになり、こどもたちの通う学校にも繋がるようになったことは、ありがたかったなと思います。この場所があるから、安心でいて、この場所があるから、もういいではありません。ここからこどもたち本人が「こうしていきたい！」とこどもたち自身で選び、歩き出せるようにすることを大事にしたいなと思います。歩き出しているこどもたちも今から歩き出すこどもたちも、もともとある自分の力を知ってほしいです。こどもたちの成長を近くで感じてもらい、本当にあっという間の3年でした。親御さんや関わってくださっている方の協力があつたからです。ありがとうございます。

かなさん

まきさん

みんなが安心して過ごせる「居場所」を作りたい！そんな想いでスタートした3年前。こんなにもこどもたちの日々の葛藤や不安や成長を間近で感じ、ともに悩み考える毎日があることは想像をはるかに超える素敵な時間でした。こどもたちの日常を通して私たちスタッフも自分自身のあり方や存在意義みたいなものを真剣に考えた3年だったと心から思います。そしてここにきてくれたこどもたち全員。ここにつなぐため尽力してくださったご家族や支援者の皆様も。関わってくれているスタッフのみんなも。すべての出会いと想いがあつたからこそ進んでこれた3年でもありました。これからも私たちも歩みを止めず、みんなが自分らしく生きていける将来のために、一緒に葛藤し壁を越えていきたい！と思います。みんなにありがとう！とどんな時も大好き！を伝え続けたいです。